



青年期とは

公共の学びを深めるところ Think🗨️…考えるコーナー(5分~10分) / Work📝…作業するコーナー(10分~20分)

(i) 大人になるとはどういうことか

2022年4月から成人年齢を20歳から18歳に引き下げる改正民法が成立。1876年の太政官布告以来140年以上続いてきた大人の定義が変わった。高校三年生の誕生日を迎えると同時に成人になるということだ。

Think🗨️ 民法改正により18歳でできることを区別しよう

18歳で出来ること→A 18歳ではできないこと→B をそれぞれ記入

- | | | |
|----------|-----------------|--------------|
| ・ 契約 [] | ・ クレジットカード [] | ・ 飲酒や喫煙 [] |
| ・ 結婚 [] | ・ 公営ギャンブル [] | ・ 選挙の立候補 [] |
| ・ 選挙 [] | ・ 普通自動車免許取得 [] | ・ 性別変更 [] |

若者の社会参画を促し活力ある社会にする狙いや、OECD加盟国の9割以上が成年年齢を18歳以上に設定しているという世界の動きを踏まえ、民法が改正された。この区別を見て、あなたが考えることを自由に書いてみよう。どの点に注目しても構わない。

自分の考え

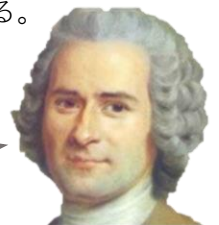
他者の考え

- ・
- ・

(ii) 青年期の意義

- 青年期とは 一般的に、高校生前後の時期を表し、大人と子どもの中で揺れ動く様子を示す。この時期に一人の大人として多様な関心を持ち、個性を発揮するようになる。

[¹]:「われわれはいわば二度生まれる。一回目は存在するために、二回目は生きるために。」 フランス思想家[²]



[³]



[⁴](⁵)

ホリングワース (米: 心理学者)

[⁶] (独: 心理学者)



赤ちゃん→母の授乳を卒業する
青年期→精神的に母の元を離れる





[7]

ハヴィガースト (米：心理学者)



青年期は「モラトリアム」

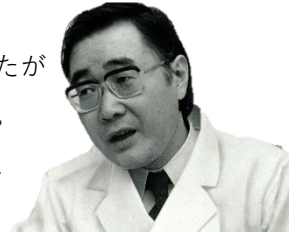
[8] (米：心理学者)

モラトリアムとは**猶予期間**という意味を持ち、成人としての社会的責任や義務が免除されている間にさまざまな学びや経験を重ねることが自己形成に繋がるとされている。

一方で、この期間を自らの特権とみなし、あえてモラトリアムの状態にとどまる心理傾向も見られた。

[9] (1930~2003)：日本の心理学者、精神科医

猶予期間とは、本来は大人になるために必要で、社会的にも認められた期間を指していたが社会に出ることを先延ばしして一時の自由に浸ることのできる期間という意味となった。大学が勉学の間というよりも、サークル活動などの遊びの間となっているような若者を、彼は『**モラトリアム人間**』と表現した。これは否定的意味で用いられることが多い。



■ 青年期の意義

青年期は自己を形成するために重要な時期であり、**エリクソン**は青年期の発達課題を

[10] の確立だと説いた。これは「**自分が自分である**」という自己意識のことであり、**一貫した自分を肯定的に捉えることや、周囲に評価されること**で固まっていくものである。

このアイデンティティが失われる危機に陥った時、人は以下のような状態になる危険がある。

- ・ [11]]：社会的な義務を負う大人になることから逃避しようとする青年の心理
- ・ [12]]：女性の潜在意識にある、素敵な王子様が現れて私を救ってくれるという願望
- ・ [13]]症候群：自分の能力が活かせていないと感じ仕事が嫌になり、転職を繰り返す若者
- ・ [14]]：今まで真面目に出席していた学生が急に休むなど、学生特有の無気力状態
- ・ [15]]：学校卒業後も親に依存した生活を送る、独身者のこと

Work📌 おとなになるために、いま私たちがすべきことは？

私たちは普段「おとなしい」とか「おとなげない」という言葉を使う。では、「おとな」って何だろう。今回の授業を振り返りながら、改めて考えてみよう。

STEP 1 年齢や経済的自立以外に、何をもっておとなになったといえるだろうか？

自分の考え

他者の考え

//

STEP 2 STEP 1の内容を踏まえ、高校生のうちに自分たちがすべきことは何だろう？

自分の考え

他者の考え



青年期とは

公共の学びを深めるところ Think🗨️…考えるコーナー(5分~10分) / Work📝…作業するコーナー(10分~20分)

(i) 大人になるとはどういうことか

2022年4月から成人年齢を20歳から18歳に引き下げる改正民法が成立。1876年の太政官布告以来140年以上続いてきた大人の定義が変わった。高校三年生の誕生日を迎えると同時に成人になるということだ。

Think🗨️ 民法改正により18歳でできることを区別しよう

18歳で出来ること→A 18歳ではできないこと→B をそれぞれ記入

- | | | |
|------------|-------------------|----------------|
| ・ 契約 [A] | ・ クレジットカード [A] | ・ 飲酒や喫煙 [B] |
| ・ 結婚 [A] | ・ 公営ギャンブル [B] | ・ 選挙の立候補 [B] |
| ・ 選挙 [A] | ・ 普通自動車免許取得 [A] | ・ 性別変更 [A] |

若者の社会参画を促し活力ある社会にする狙いや、OECD加盟国の9割以上が成年年齢を18歳以上に設定しているという世界の動きを踏まえ、民法が改正された。この区別を見て、あなたが考えることを自由に書いてみよう。どの点に注目しても構わない。

自分の考え

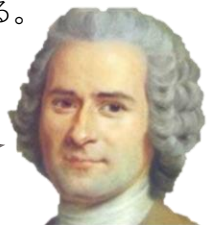
他者の考え

- ・
- ・

(ii) 青年期の意義

- 青年期とは 一般的に、高校生前後の時期を表し、大人と子どもの中で揺れ動く様子を示す。この時期に一人の大人として多様な関心を持ち、個性を発揮するようになる。

[¹ **第二の誕生**] : 「われわれはいわば二度生まれる。一回目は存在するために、二回目は生きるために。」 フランス思想家 [² **ルソー**]



[³ **心理的離乳**]



[⁴ **境界人**] (⁵ **マージナル・マン**)

ホリングワース (米: 心理学者)



赤ちゃん→母の授乳を卒業する
青年期→精神的に母の元を離れる

[⁶ **レヴィン**] (独: 心理学者)





[7 発達課題]

ハヴィガースト (米: 心理学者)



青年期は「モラトリアム」

[8 エリクソン] (米: 心理学者)

モラトリアムとは**猶予期間**という意味を持ち、成人としての社会的責任や義務が免除されている間にさまざまな学びや経験を重ねることが自己形成に繋がるとされている。

一方で、この期間を自らの特権とみなし、あえてモラトリアムの状態にとどまる心理傾向も見られた。

[9 おこのぎはいこ 小此木啓吾] (1930~2003) : 日本の心理学者、精神科医

猶予期間とは、本来は大人になるために必要で、社会的にも認められた期間を指していたが社会に出ることを先延ばしして一時の自由に浸ることのできる期間という意味となった。

大学が勉学の間というよりも、サークル活動などの遊びの間となっているような若者を、彼は『**モラトリアム人間**』と表現した。これは否定的意味で用いられることが多い。



■ 青年期の意義

青年期は自己を形成するために重要な時期であり、**エリクソン**は青年期の発達課題を

[10 **アイデンティティ**]の確立だと説いた。これは「**自分が自分である**」という自己意識のことであり、**一貫した自分を肯定的に捉えることや、周囲に評価されること**で固まっていくものである。

このアイデンティティが失われる危機に陥った時、人は以下のような状態になる危険がある。

- ・ [11 **ピーターパン=シンドローム**] : 社会的な義務を負う大人になることから逃避しようとする青年の心理
- ・ [12 **シンデレラコンプレックス**] : 女性の潜在意識にある、素敵な王子様が現れて私を救ってくれるという願望
- ・ [13 **青い鳥**] 症候群 : 自分の能力が活かせていないと感じ仕事が嫌になり、転職を繰り返す若者
- ・ [14 **スチューデント・アパシー**] : 今まで真面目に出席していた学生が急に休むなど、学生特有の無気力状態
- ・ [15 **パラサイト・シングル**] : 学校卒業後も親に依存した生活を送る、独身者のこと

Work📌 おとなになるために、いま私たちがすべきことは？

私たちは普段「おとなしい」とか「おとなげない」という言葉を使う。では、「おとな」って何だろう。今回の授業を振り返りながら、改めて考えてみよう。

STEP 1 年齢や経済的自立以外に、何をもっておとなになったといえるだろうか？

自分の考え

他者の考え

//

STEP 2 STEP 1の内容を踏まえ、高校生のうちに自分たちがすべきことは何だろう？

自分の考え

他者の考え